

平成23年度 事業計画

全日本広告連盟は、平成23年度も全国37地域の広告協会が協同協力して活動する全国団体として、関係諸団体及び諸機関との連携のもと、企業と消費者の社会的責任の促進、広告の信頼性の向上、生活者に不可欠な生活情報の提供、地域経済の活性化等を内容とする広告の社会的使命を推進するための各種事業を展開する。

1. 第59回全日本広告連盟岡山大会

平成23年5月18日、岡山市で岡山広告協会の主管により「ニッポンを元気にする、ふるさとパワー！晴れの国『岡山』から。」を大会テーマに第59回全日本広告連盟岡山大会を開催するが、3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」により甚大な被害を受けた東日本の状況を勘案し、見学会及びゴルフ会を中止するなど当初の内容を変更し、5月18日の一日開催とする。被災地の一刻も早い復旧を願い、日本中が元気になれるよう発信する大会とする。

会員に限らず、広く一般、学生にも開放する。

会場は、岡山市・岡山国際ホテル。

2. 第22回全広連夏期広告大学

広告関係者及び一般・学生を対象に、地域活性化に役立つ広告知識の習得、技術の向上を目的とする「全広連夏期広告大学」(第22回)は、財団法人吉田秀雄記念事業財団の協賛により、「広告新時代～“デジタル”と“マス”の融合～」―最新事例紹介と研究―をテーマに、6地区において下記日程で開催する。

なお、今回より、これまでの一日3講座を午後からの3講座に構成を変更して開催する。

7月5日(火)：静岡市(静岡県広告協会主管) (株)アサツー ディ・ケイチーム

7月8日(金)：新潟市(新潟広告協会主管) (株)アサツー ディ・ケイチーム

7月14日(木)：大阪市(社)大阪広告協会主管) (株)電通チーム

7月14日(木)：福岡市(福岡広告協会主管) (株)博報堂チーム

7月15日(金)：京都市(京都広告協会主管) (株)電通チーム

7月15日(金)：広島市(広島広告協会主管) (株)博報堂チーム

3. 秋のシンポジウム「第4回三社合同セッション」

広告関係者及び一般、研究者、学生を対象に、日本の広告・マーケティングの最前線で活躍する(株)電通、(株)博報堂、(株)アサツー ディ・ケイ三社の女性マーケティング・プランナーが、プランニング・キャンペーン戦略や最新事例を紹介するパネルディスカッション「三社合同セッション」(第4回)は、財団法人吉田秀雄記念事業財団の協賛により3～4地区で開催する。参加費は無料とし、広く開放する。これまでに、岡山市(岡山広告協会主管)、富山市(富山広告協会主管)の2地区から開催希望が出ている。

4. 顕彰活動

1) 全広連鈴木三郎助大賞

全国各地で展開されたさまざまなキャンペーン活動の中から、最も優れたものを顕彰する。地域活性化に貢献し、また、社会的貢献度の高い広告キャンペーンなどが多数生まれることを目的とする。第5回全広連鈴木三郎助大賞は、第59回全広連岡山大会の式典席上において贈呈し、会場に展示する。また、第6回の活発な応募を各地広告協会に呼びかける。

2) 全広連鈴木三郎助地域賞

地域のクリエイティブ活動の発展を図り、地域活性化に貢献する広告主企業が多数生まれることを目的とする作品賞である第5回全広連鈴木三郎助地域賞は、5月18日に開催される第59回全広連岡山大会の式典席上において贈呈し、会場に展示する。また、第6回の活発な応募を各地広告協会に呼びかける。

5. 各地広告協会に対する支援

1) 助成金

広告活動の健全な発展を通じた、各地の地域活性化を目的に実施する各地広告協

会の公益的事業にかかる費用の一部を助成する。

2) 講師派遣

広告活動の健全な発展を通じた、各地の地域活性化のために各地広告協会が行う講演会、セミナー等への各地広告協会からの講師派遣要請に応え、助成金とは別途に講師を選定のうえ派遣する。

6. 関係官公庁への要望・協力活動

全広連の長年にわたる中心的活動でもある広告課税反対要望等、広告に係る法・施策に関して必要に応じ広告・報道関係8団体をはじめとする関係団体と連携・協力して、関係官公庁に対して要望を行う。広告活動が健全に発展し、広告の社会的使命が促進されることを目的とする。

また、関係官公庁から法・政策に関して周知協力の要請を受けた場合には、これに協力し、機関誌及びWEBサイトに掲載するなど周知を図る。周知することをおして、広告関係者のコンプライアンスを促進し、広告を健全に発展させ、広告の社会的使命を促進する。

7. 機関誌「全広連」の発行

平成23年1月号より隔月刊となった全広連機関誌「全広連」を発行、会員だけでなく、非会員にも希望があれば無償で頒布する。広告、マーケティング、メディアの動向を各界の専門家による解説をはじめ、全国37広告協会の活動報告や各地の生活・経済情勢を紹介していく。また、WEBサイトにも掲載する。

8. 全広連名鑑の発行

製作コストの低減などを図りつつ、平成23年版「全広連名鑑」を継続刊行する。

9. WEBサイト

WEBサイト上で、連盟の基本データの情報公開を行うとともに、講座・シンポジウム・全国大会等の開催・参加案内及び官公庁からの周知依頼の文書等の掲示などを紹

介し、その内容をより多くの方々に知っていただくとともに、参加していただくように努める。

10. アジア太平洋広告祭(アドフェスト)

全広連は、日本を代表して加盟しているアジア各国の広告団体により構成されるアジア広告協会連盟(AFAA)が支援する、第15回アジア太平洋広告祭(アドフェスト2012)へ参加研修団(公募)を派遣する。日本で蓄積した広告に関する知見、ノウハウをアジア諸国とシェアすることを通じて、各国社会の健全な発展に資するとともに、アジア諸国との交流を通して、我が国における広告の社会的使命を推進し、若手のクリエイターの国際的交流をはかり、次代を担う人材を育成することを目的とする。また、アドフェスト内で行われる広告コンテストへの参加応募要項を日本語に訳し、WEBサイト上で会員、非会員を問わず公募する。

11. 公益法人制度改革への取り組み

平成23年度中の公益社団法人認定申請をめざし、専門家及び顧問税理士との共同作業で、認定当局との相談を行いつつ、都度の全広連プロジェクト委員会での報告を行いながら、申請に必要な各資料を整備し、申請を行う。